



千代田区は財政に余裕があるのに

## なぜ区立保育園を民営化

するのですか？

保育所は働く保護者を支え、家庭の子育ても支援する地域の子育ての拠点です。今日も保育所には元気な赤ちゃんの泣き声や子どもたちの笑い声があふれています。

しかし、いまの日本は子どもを大切にしていません。「どの子も健やかに育てほしい」、「保育所に預けて、安心して働きたい」...こんなあたりまえの願いがなかなか実現されないのです。政府は、「少子化対策」などと言いながら、他方で保育予算を減らし、「社会福祉としての保育」を、「切り売りの保育サービス」へ転換しようとしています。千代田区も「官から民へ」と保育所を民営化しようとしています。保育者や保護者、地域の人たちが、子どもと保育を取り巻く情勢を学習し、願いや要求を出し合い、保育をよくなる運動を広げることが重要となっています。

学習会の開催時期は、区議会第1回定例会の前であり、区議会にも問題点の認識をしてもらうにはよい機会です。ご参加をお願いします。

### 区立保育園の民営化問題を考える学習シンポジウム

日時 2008年2月9日(土)午後2時から4時半予定

場所 東京清掃会館SKホール(飯田橋)

内容

区職労書記長司会で、パネラー(保育専門家、文京区保育運動経験者、区保育士、麹町保育園保護者を予定)

保育専門家には、立教大学教授の浅井春夫氏にお願いしています。